

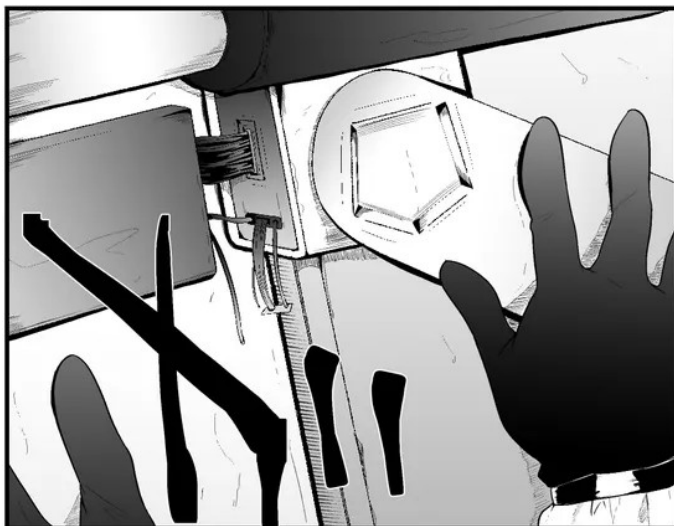
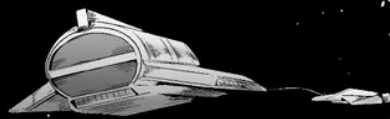


R18  
成人向け  
ADULT ONLY

いかにして彼女達は  
孕み袋  
となったのか？

——第二宙域184区  
アドニア隊  
現場に突入  
これより

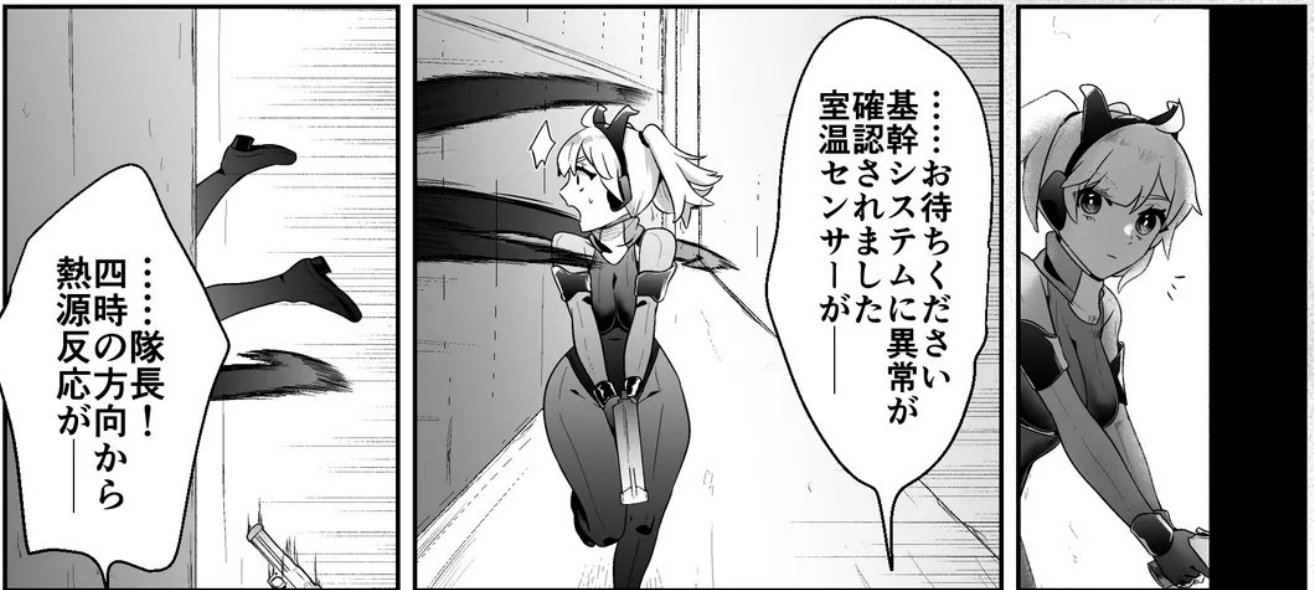
作戦行動を  
開始する  
以上





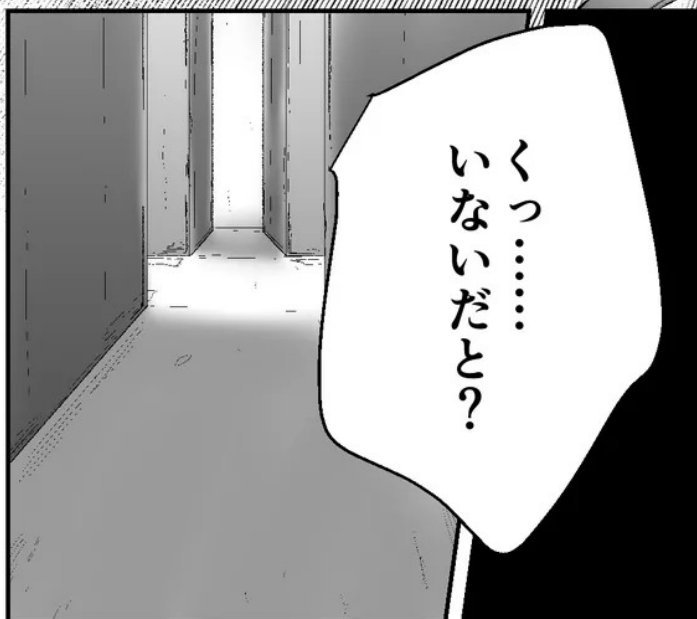
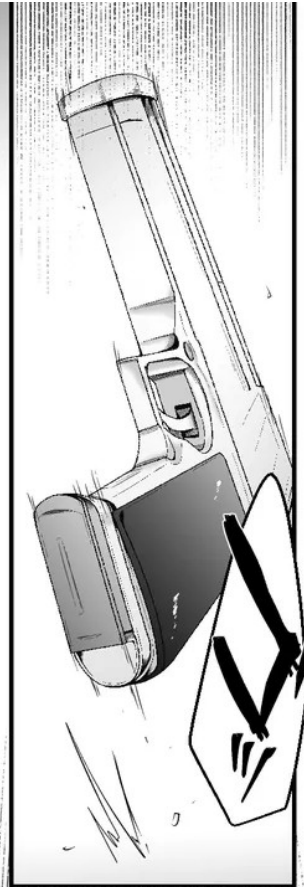
70  
1/10  
✕







!?



くっ……  
いないだど？



ステイラ！



ここは……  
船員居住室ですね  
目を離れた隙に  
船の中央部まで……

ステイラ隊員と  
未確認の熱源反応が  
高速で移動中

……！



連れ去られたのか？  
いったい何に……  
まさか、さっきの

隊長！





照明が！

ベルナ！

ベルナ



なんだコイツ

アンドロイド……  
ではない

生物、なのか？

生物兵器の類いか？

カ



な

ベルナ

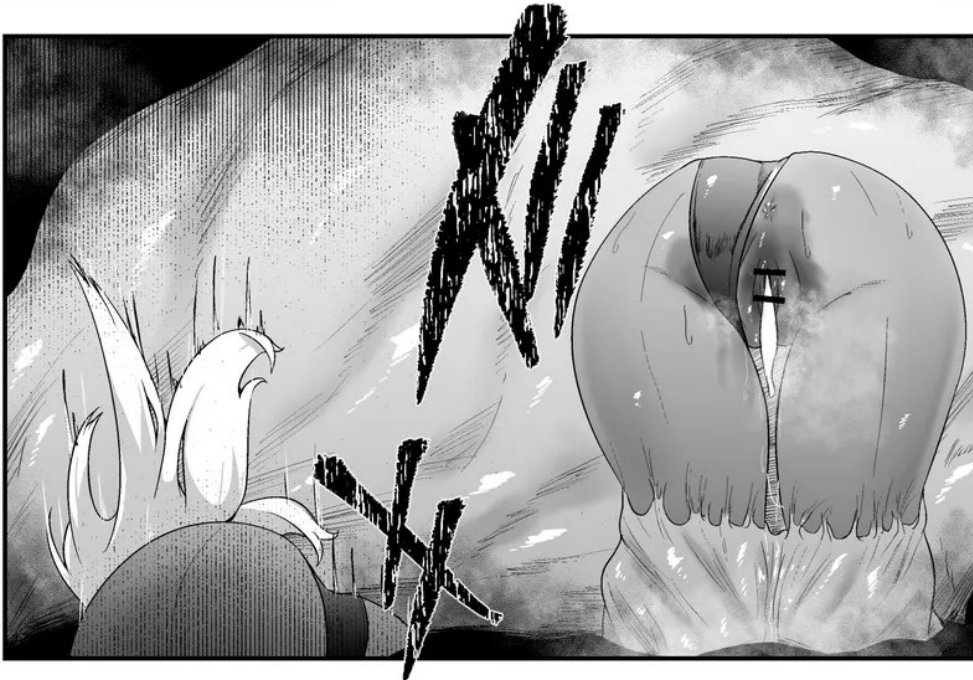


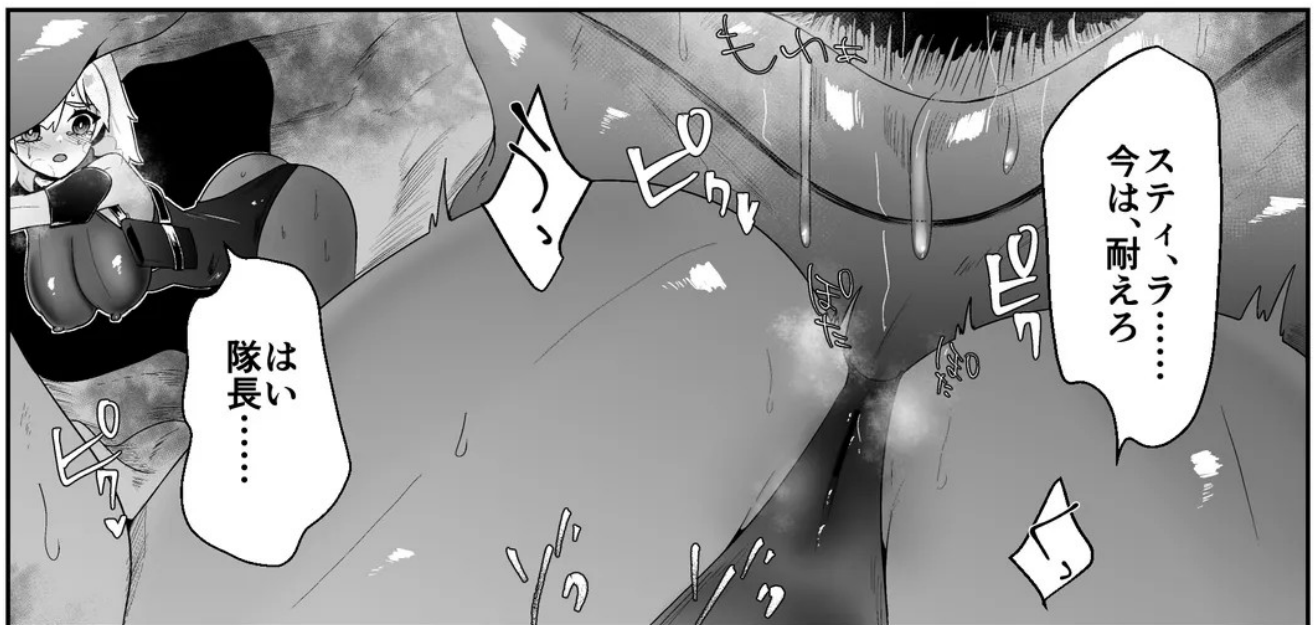
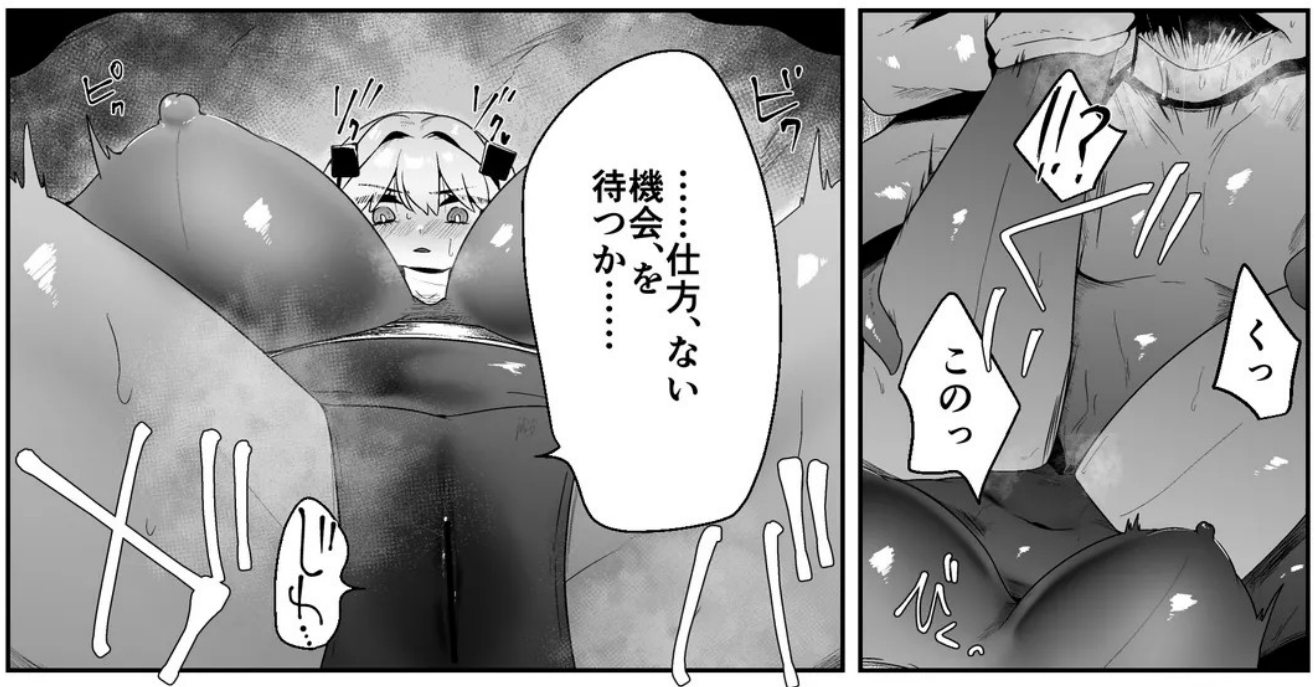


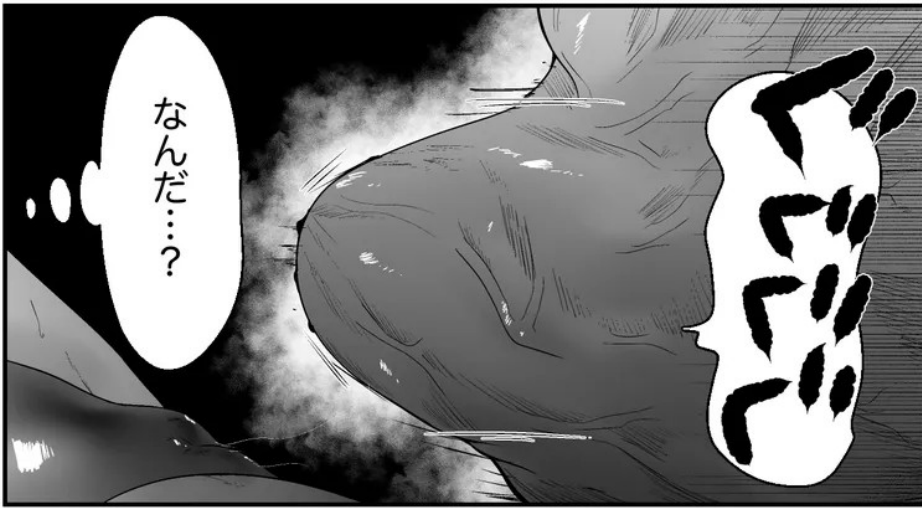


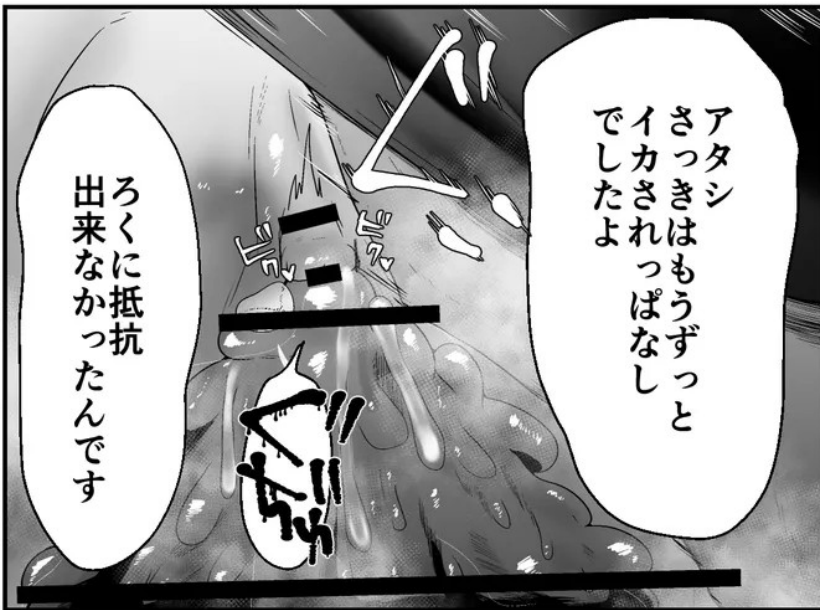
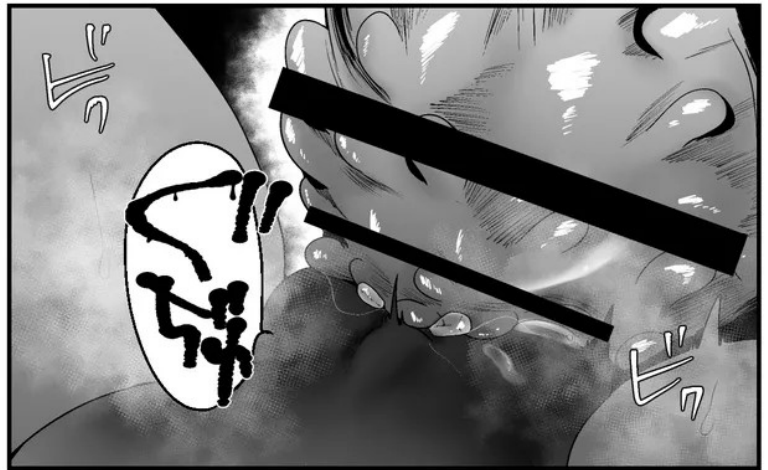


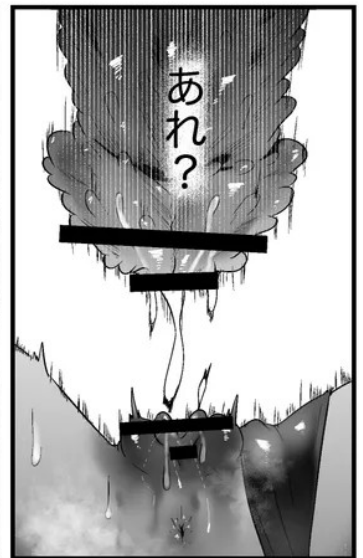
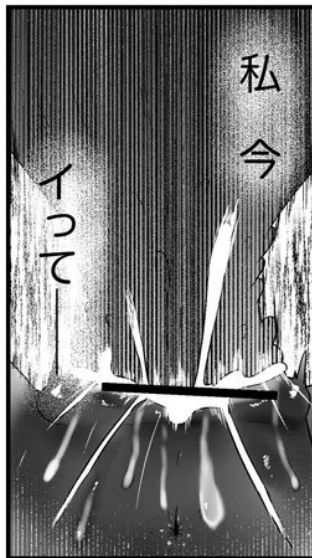
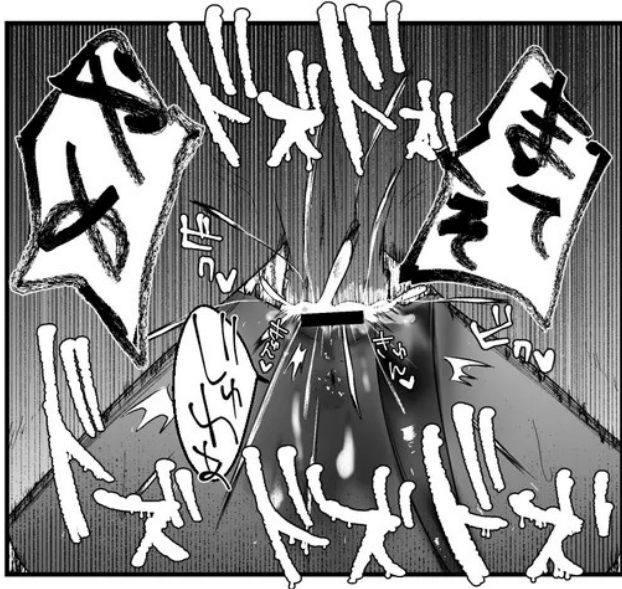
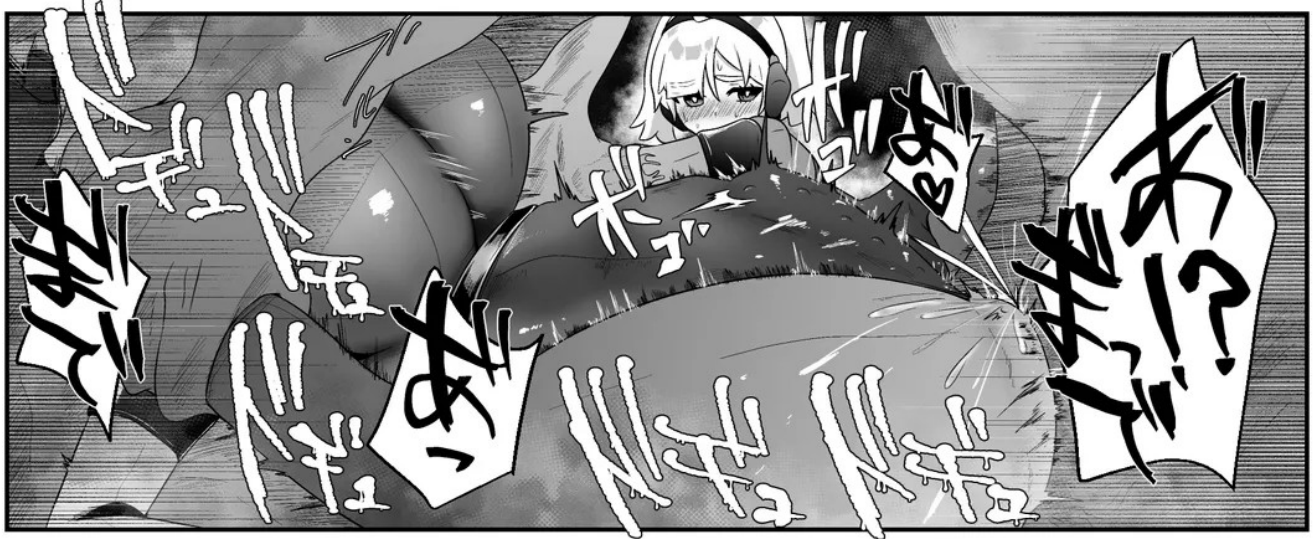




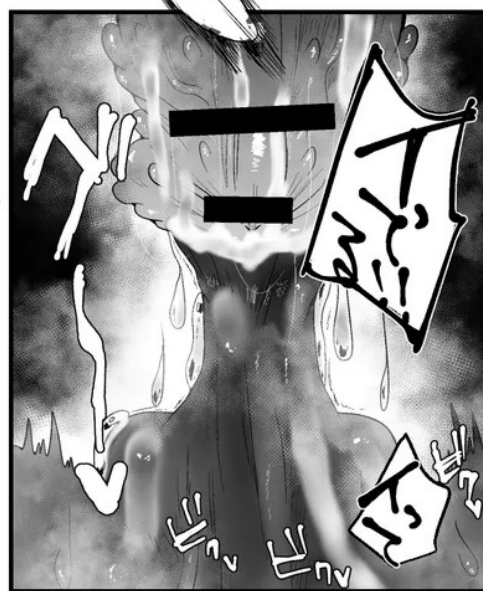
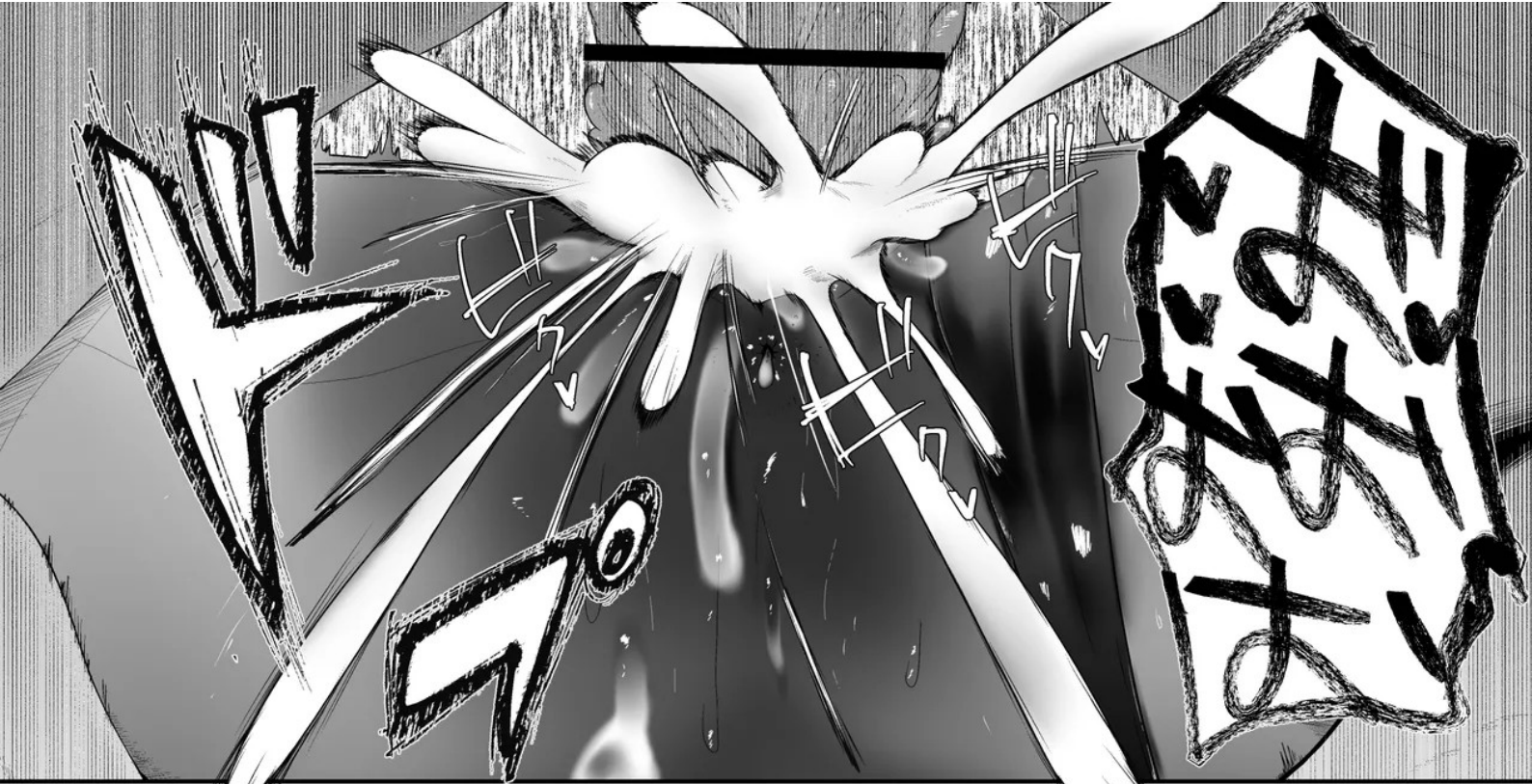














任せたぞ……



スキを作る

——わかった



隊長！



私の中で  
果てる!!

思いっきり  
締めてやる！







ターゲットの  
生体反応消滅を  
確認!

ふたりとも  
ご無事ですか!?



はやくちよつと!  
助けて!

快感——って  
あのバケモノは  
いったい……?

感謝する  
お前がいなかったら  
快感で発狂していた  
だろうな……



ああ

なんとかな

よろ……

ありがとう



実験動物の類  
でしようか?  
ひどく攻撃的  
性欲旺盛なのは  
いったいなぜ……

多量の体組成で  
巢を形成し、  
ヒトとの交尾も  
出来る生命体か……

——ふむ  
軍用データベースにも  
奴らの情報は登録  
されていないようだ



はい襲撃時に隙をついて逃げたあと

侵入ルートに戻ったら既にハッチが例の肉で覆われていて……



しかし――

なんにせよ我々はいち早くこの船から脱出せねばならない

搬出口を含め船の出入り口はアレで塞がってる、と



恐らく……妨害機器によるものかと……

私達の船とのアクセスも遮断されています

……



袋のネズミか……

それどころからロッキンクも側からようなんです

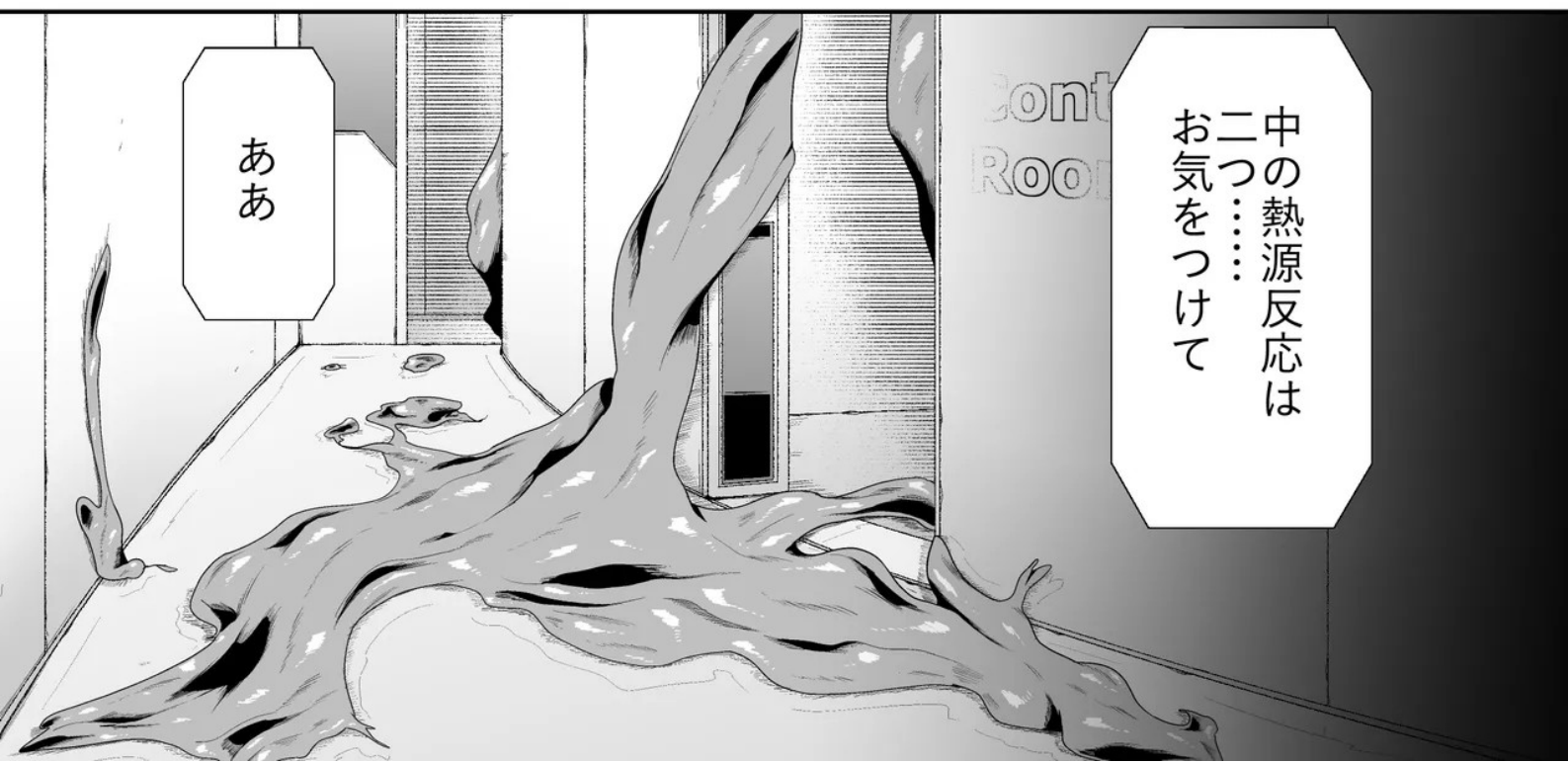
うげー

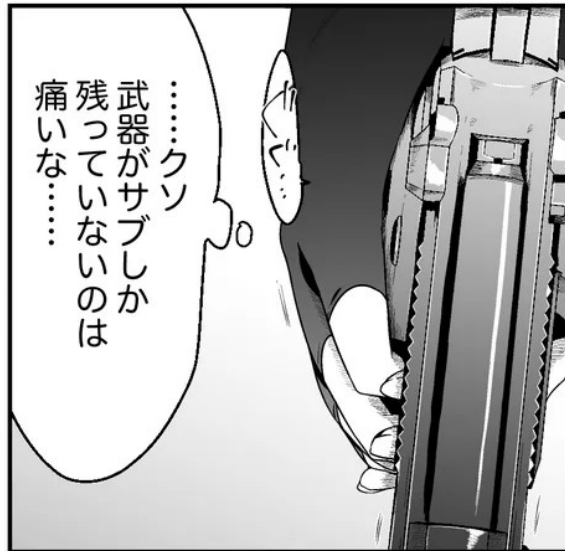


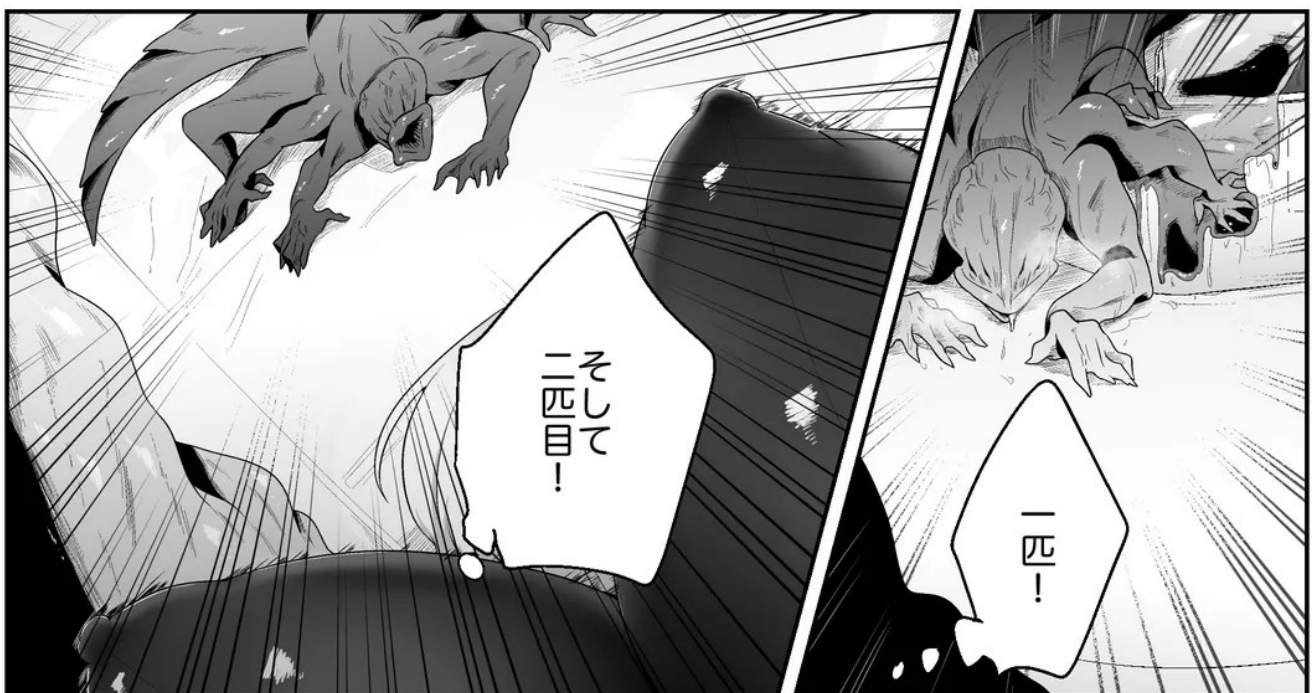
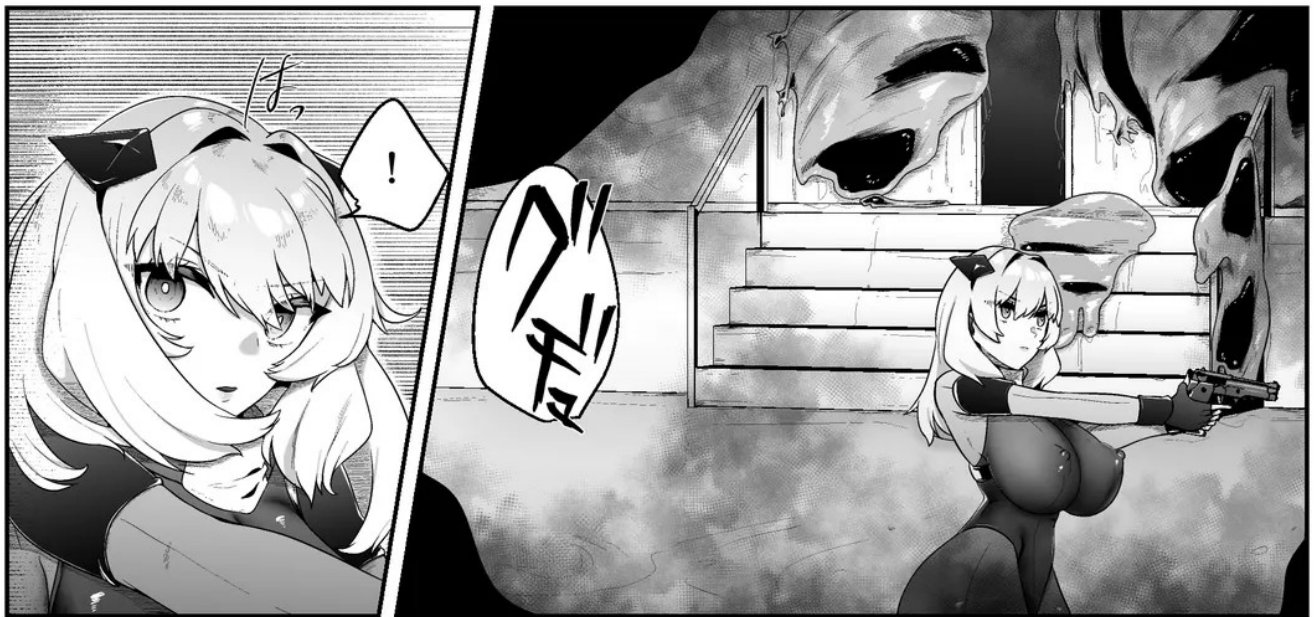
最初は未確認生物の巣に迷い込んだが思っていたが

人為的かつ用意周到だな

ソシキ的犯行ってヤツ！



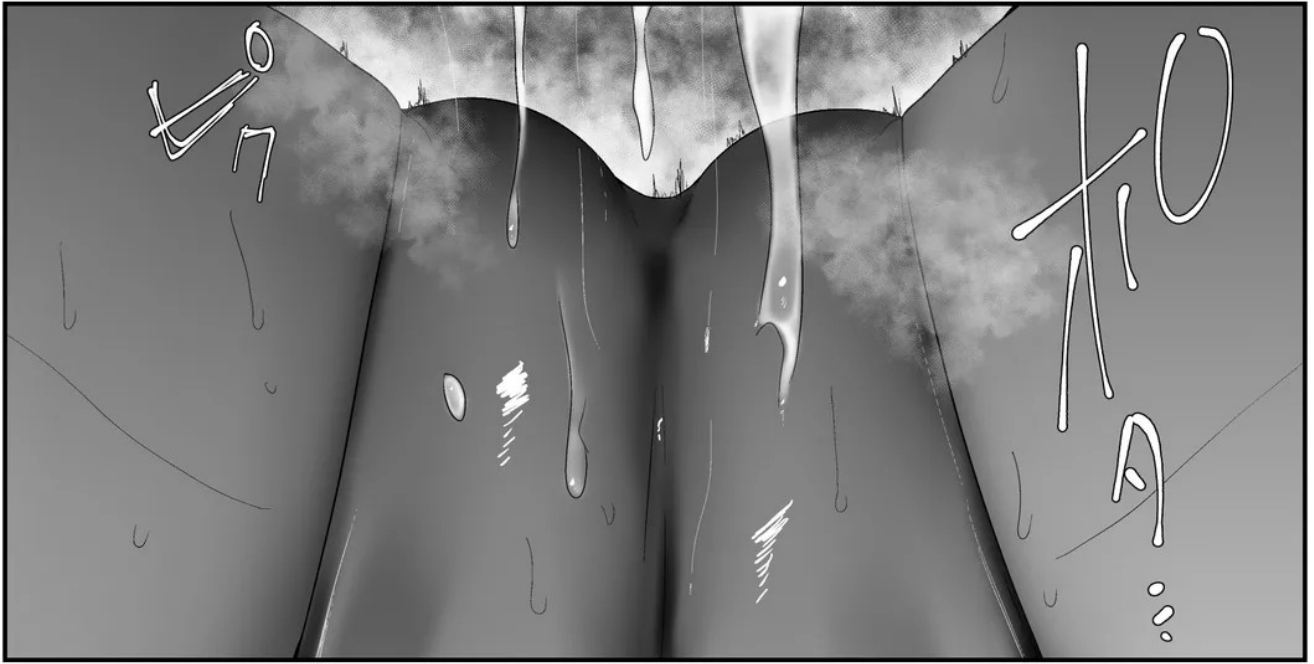






よけられな























ふたりとも  
よくやった！



えっ、そこ  
一番大事な  
やつでしょ！

ああ  
給与の増額以外なら  
上に掛け合っても  
いいぞ

……隊長の  
正体不明は全て  
熱源反応は全て  
取り除かれたようです



たいちよー  
二つぐらいね  
貸しだかんね

こらっ  
ステイラ！



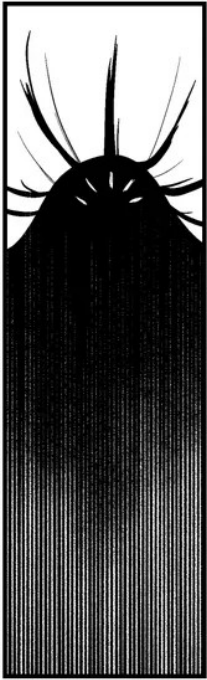
えっ

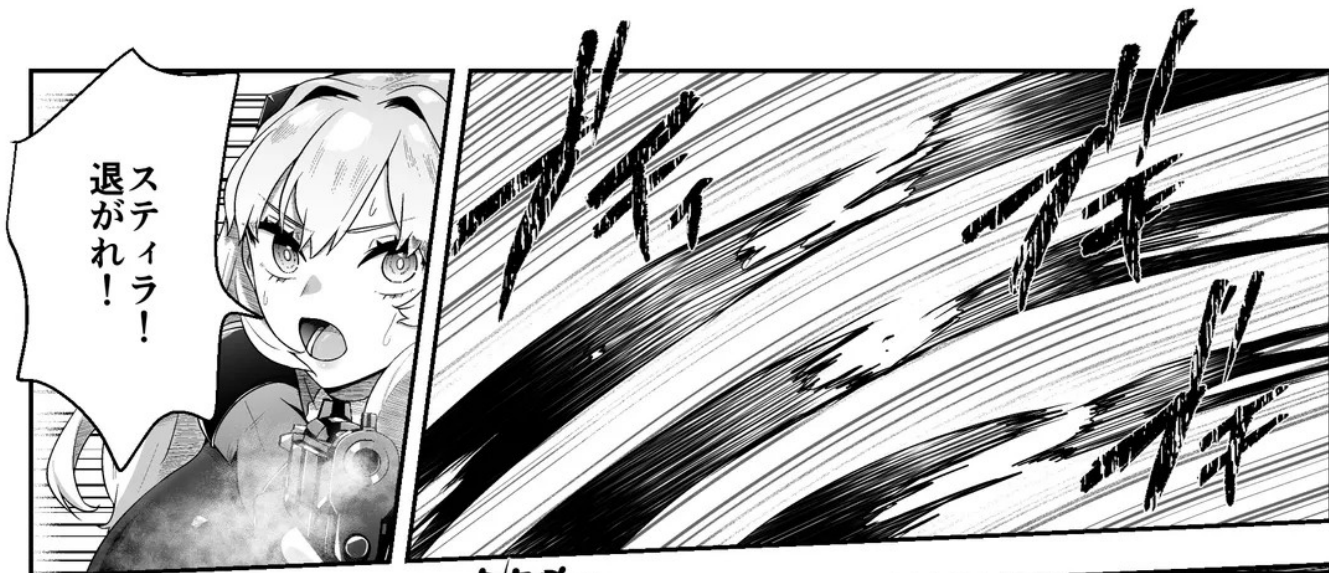


ひとまずこの船の  
安全は確保された  
ものかと思われ



ベルナ!?















やめ



わたし

まだ

誰とも



わたし



わたし

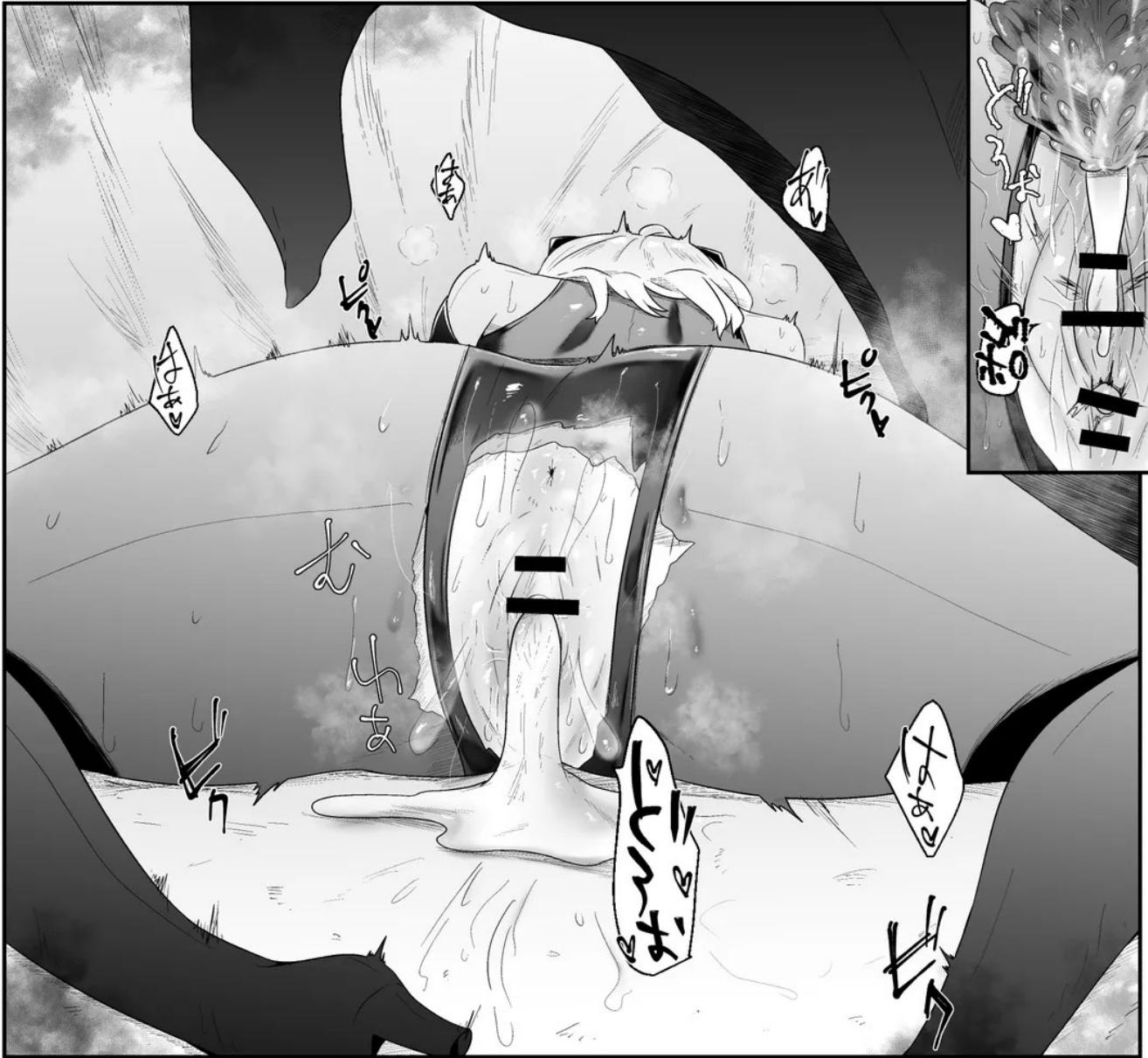




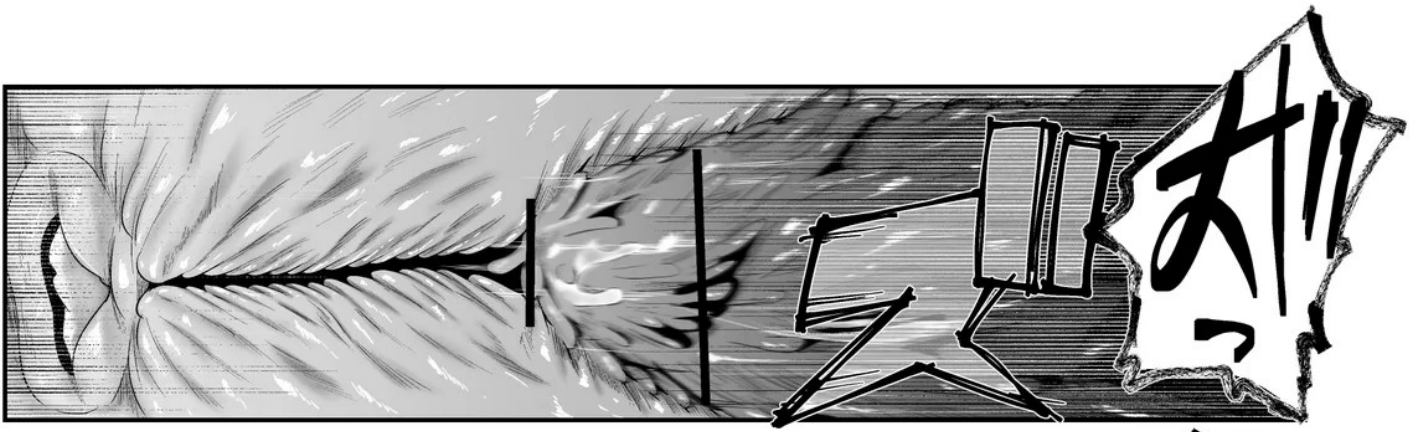














あたま おかしく

たすけて

きゆうえんを

たすけを

おめおめ

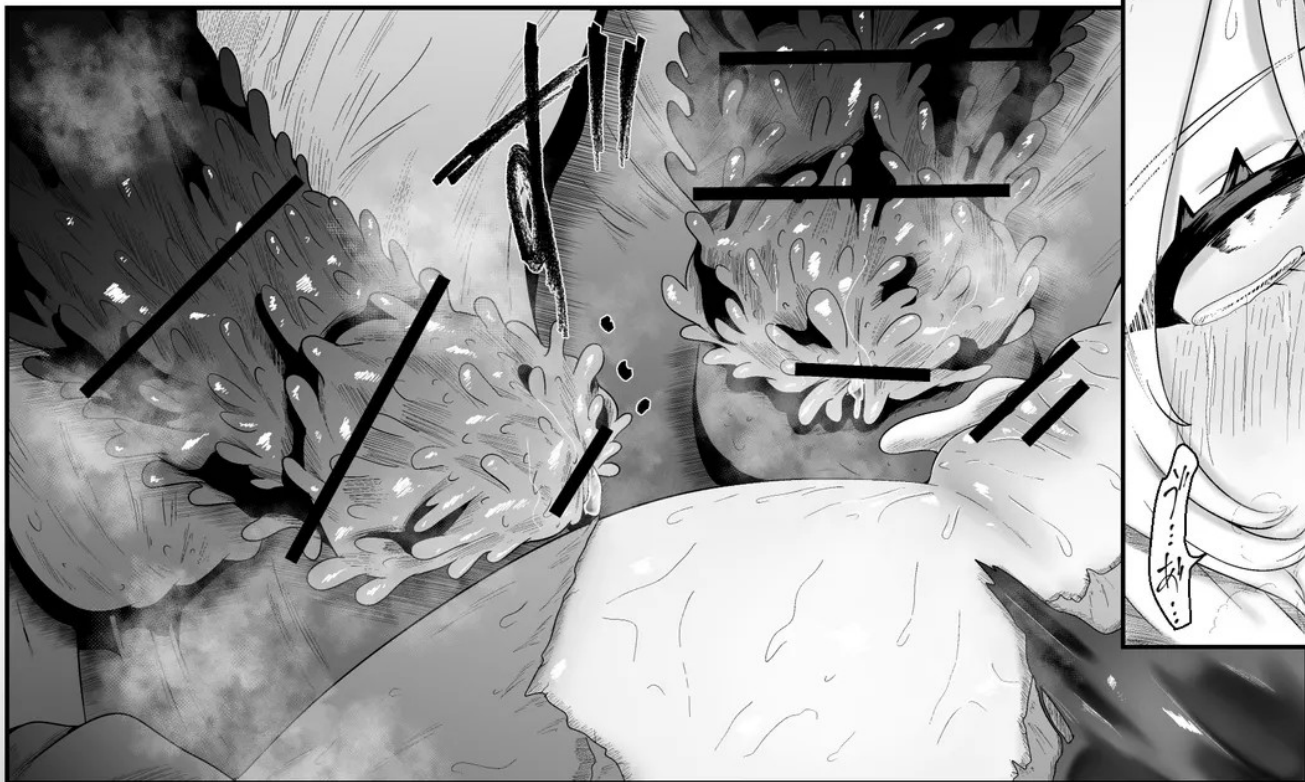
ふたり

たすけ

ぶきを







第二宙域自警団  
アドニア隊  
ここに顛末を記録する

不穏分子殺害の命を受け  
184区間にて停船中の  
一般貨物輸送船に突入

その際、船を占拠  
していた  
未確認生命体と  
交戦し、敗北

隊員三名とも  
約三百時間の陵辱の末  
ヤツらの子を妊娠

その影響で  
母乳が出るようになる







一日中  
絶頂の繰り返しだ

正直なところ  
精神に異常を  
きたし始めている

ステイラ隊員と  
ベルナ隊員には  
精神崩壊を防ぐ為  
思考のロック措置を  
命令した

外部から解除しない限り  
意識が正常に戻る事は  
ないだろう

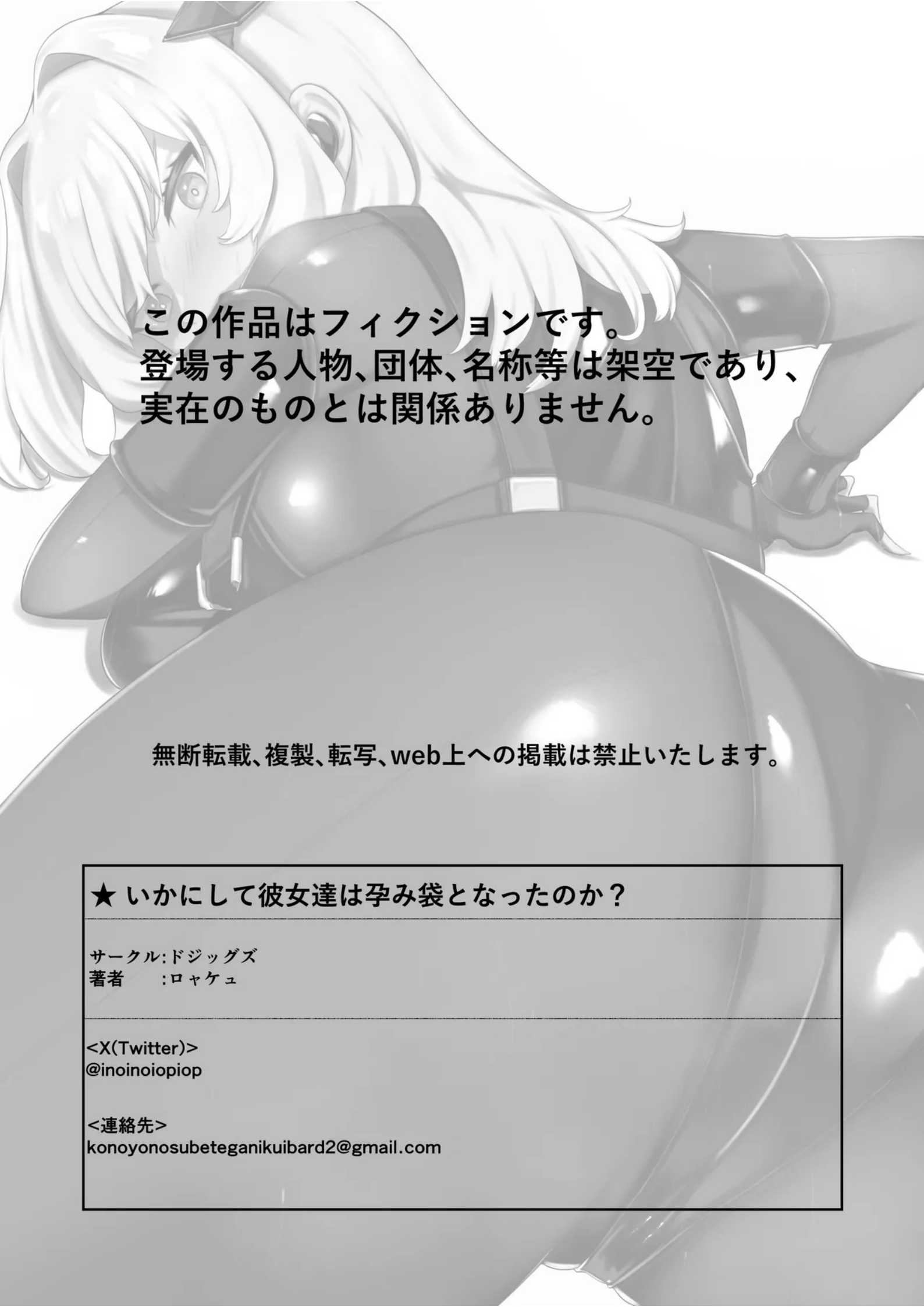


私もこの  
記録が完了次第  
実行する



一刻も早く  
救助される事を  
期待して……





この作品はフィクションです。  
登場する人物、団体、名称等は架空であり、  
実在のものとは関係ありません。

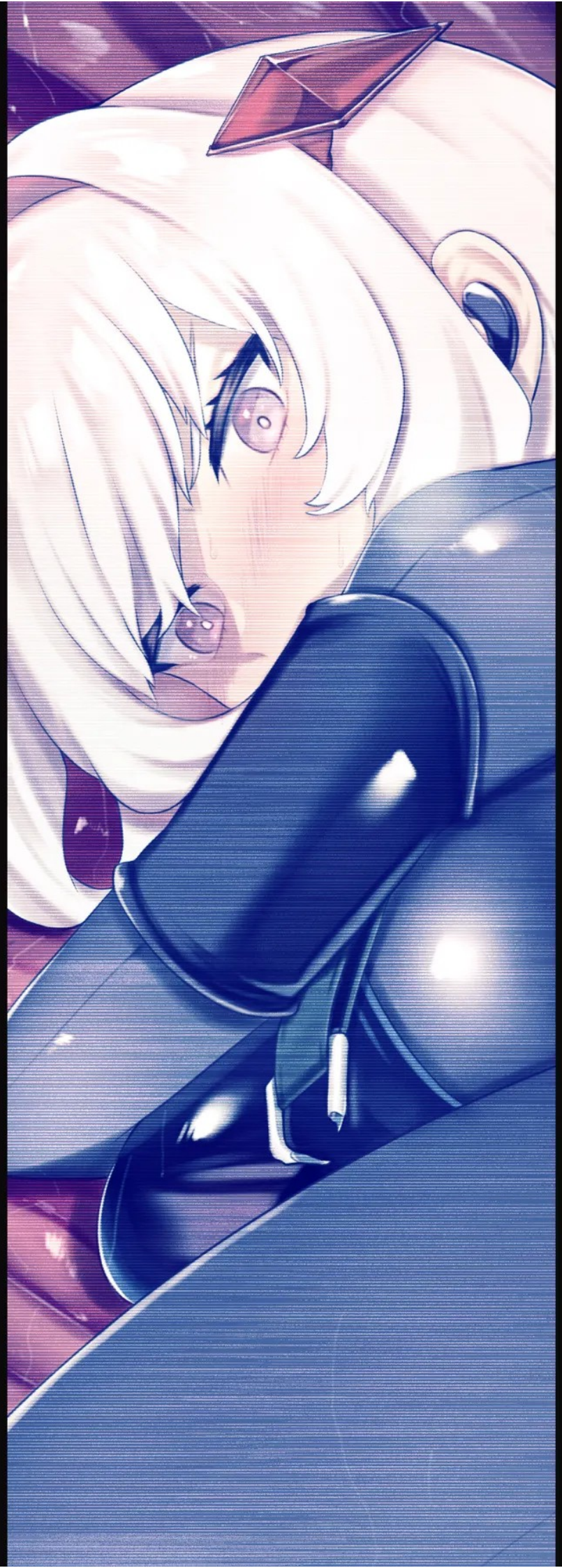
無断転載、複製、転写、web上への掲載は禁止いたします。

★ いかにして彼女達は孕み袋となったのか？

サークル:ドジグズ  
著者 :ロヤケユ

<X(Twitter)>  
@inoinoiopiop

<連絡先>  
konoyonosubeteganikuibard2@gmail.com



サークル: ドジグズ  
著者: ロヤケユ